

CTBT 高崎放射性核種観測所の粒子観測データに関するお知らせ

2015年4月28日

公益財団法人日本国際問題研究所
軍縮・不拡散促進センター

CTBT 高崎放射性核種観測所の粒子観測データに関しては、CTBT 監視対象核種 (I-131, Te-132, Cs-134, Cs-137) と天然放射性核種 (Be-7, K-40, Ac-228, Pb-212, Pa-234m, Bi-214)の毎日の放射能濃度を1か月ごとに表にしてホームページ上に掲載しています。CTBT 監視対象の人工放射性核種については、現在 Cs-134 と Cs-137 以外の核種は検出されません。このため、I-131, Te-132, Ba-140 に関しては検出されていないので ND (非検出) と表示し、Cs-134 と Cs-137 に関しては検出された場合にはその濃度を、検出されない場合には ND 及びその最低検出可能放射能濃度 (MDC) の値を表示しています。

ホームページ更新の際は、CTBT が発表する評価済み解析報告 (RRR) の値を読み込んで、それを EXCEL に入力して発表用の表を作成しております。RRR には検出されない放射性核種の濃度は MDC の値が掲載されておりますので、現在は検出されなくなっている I-131, Te-132, Ba-140 の放射能濃度は MDC の値に代え ND と直して公開しております。しかしながら、平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月までのデータに関しては、ND と修正すべきところをそのまま MDC の値を残したまま公開してしまいました。これについて読者の方から御指摘がありましたので、訂正をさせていただきました。

なお、I-131, Te-132, Ba-140 の訂正前の数値は MDC の値であり、そして従来から MDC の最大値と最小値は表の下に表示しております。